

日本藻類学会第 48 回大会（神戸）開催記

上井 進也・川井 浩史

2024年3月22日から24日にかけて、神戸大学六甲台第二キャンパスにて日本藻類学会第48回大会を開催しました。これに加えて、25日には神戸大学内海域環境教育研究センターマリンサイト（淡路市）でワークショップを実施しました。神戸大学での開催は2007年（31回大会）以来17年ぶりですが、それ以上に、コロナ禍でのオンライン開催が続いた後の5年ぶりのオンサイト開催とあって、参加登録は約240名、高校生発表関係で参加された方も加えると約280名の方が参加してくださいました。

振り返ってみると、久しぶりのオンサイト開催ということで奮い立って準備を進めたかといえば、そうでもなく、大会開催を打診された2023年3月に大会会場と懇親会会場については確保したものの、実際に実行委員会として活動を始めたのは、夏の臨海実習が終わった9月からでした。会計担当の坂山先生に、大会参加費の口座を開設してもらおうところから始まったのですが、北大の仲田先生からいろいろ助言をいただいていたにもかかわらず、口座開設にかなり時間を要してしまい、想像より大変だな、と11月ごろに遅まきながら思った記憶があります。お金の話になって恐縮ですが、今大会で一番大きな出費は、施設利用料、つまり大学の教室の使用料でした。31回大会を開催したときには施設利用料がかかるこ

とは無かったのですが、見積もってみるとかなり大きな金額になり、参加者が少ないと赤字になるのではと、当初は本気で心配しました。今回大会は、神戸大学内海域環境教育研究センターとの「共催」として開催しましたが、これは、施設利用料を抑えるというねらいもありました。

さて、発表申し込み締め切りを1週間延ばしたことがよかったのか、皆さんお待ちかねの対面開催だったからか、それとも神戸という場所が魅力的だったのか、蓋を開けてみれば、口頭59題、ポスター59題の発表申し込みをいただきました。このほかに14題の高校生による発表がありました。高校生発表については、仙台や山口など、遠方から参加もあり、予想以上の数の高校に発表していただけたのも嬉しい誤算でした。一方で、学生発表賞の対象となる研究発表や高校生発表を初日に実施した結果、発表内容や発表数にやや偏りが生じてしまいました。発表された方や座長を担当頂いた先生の中には、「なぜ私がこのセッション？」と思われた方もおられたのではと思いますが、どなたも文句も言わず、ご協力いただけたことに感謝致します。なお、今大会では、日本藻類学会学生発表賞については8名の方が、また高校生ポスター発表については3件の発表が受賞いたしました。また大会とは直接関係ありませんが、総会において、論文賞1件、研究奨励賞1件



ポスター発表会場の様子。

に加え、南雲保先生の日本藻類学会学術賞（山田賞）受賞が発表されていました。

今大会では、琉球大の田中厚子先生、理研食品の佐藤陽一さんをオーガナイザーとして、公開シンポジウム「海藻藻場・海藻養殖生態系における炭素フラックスと炭素固定を考える」を開催しました。ラッキーだった、という怒られそうですが、上井が5月に沖縄にサンプリングに行った際、飲み会の席で、田中厚子先生をはじめとする琉球大学の先生方にシンポジウムをさらりとお引き受けいただいたのは、大変幸運でした。言ってみるものだったと思います。公開シンポジウムには、記帳された方だけでも117名の方が来聴されており、神戸大会の参加者を増やす大きな要因になりました。また、実行委員会の負担を減らすという点でも、非常に助けられました。

今大会でもう一つ、参加された皆様の記憶に残っているのは、輪島の海藻販売ではないかと思います。この企画は、能登半島地震で販路を失った被災地の海藻類を販売して、炊き出しや復興資金に充てることを目的として、輪島で長年調査

活動をされていた海洋プランニングの石川竜子さん（当時）からご提案を頂いて、急遽実施したものでした。得られた販売利益と支援金の合計は、44,991円であったと報告をいただいております。ご協力いただきました皆様に感謝すると同時に、一日でも早い被災地の復興を心から願うばかりです。

今回の大会実施にあたっては、大会会長を含めても5名の実行委員を中心に準備を進めました。人数が少なかったため、全員が常に何かに対応する必要があり、負担が大きかったかと思います。実行委員の皆様のご尽力に感謝するばかりです。また、学会会長の小亀先生をはじめ、実行委員以外の多くの方々にも助けていただきました。とくに大会ホームページの度重なる更新についても快く、かつ迅速に対応してくださった福井県立大の吉川先生、大会案内や要旨集の作成にあたってご助力いただいた岩滝先生、山口晴代さんをはじめとする編集委員の皆様には、この場をかりて心から御礼申し上げます。

（神戸大学内海域環境教育研究センター）



輪島の海藻販売の様子。